

第11章 準備書の修正内容の概要とその理由

環境影響評価準備書の記載内容の変更を行った事項について、修正箇所、修正内容及び修正理由は表11-1(1)～(8)に示すとおりである

表 11-1 (1) 修正内容の概要とその理由

修正箇所	修正項	修正内容及び修正理由	評価書の頁
第1章			
	事業者名	事業者（松阪市）とした。	第1章 第6章 第10章
第2章			
2-3-3 対象事業実施区域の位置・概要	対象事業実施区域の範囲	対象事業実施区域の北側連絡道付近を、評価書では対象事業実施区域から除外した。 ※ 対象事業実施区域の範囲は、評価書全体において修正した。	2-5 (評価書全般)
2-3-4 対象事業の内容に関する事項	1. 土地利用計画の検討経緯	動物・植物の生息・生育環境への配慮として、実施設計段階では造成範囲の縮小や樹林残地の検討を先行して行い、改変区域の縮小を行った。また、上記の経緯を追記した。	2-10
		基本設計段階と実施設計段階の土地利用面積の比較表・図を追記した。	2-12 2-13
	2. 土地利用計画の概要	基本設計段階と実施設計段階の土地利用面積の比較表・図を追記した。	2-14～17
	3. 施設計画の概要(全体)	実施設計段階では各施設における詳細は検討中であり、評価書で示す諸元・図面等は主に基本設計段階によるものであることを追記した。また、各施設の諸元・図面がどの段階（基本設計、実施設計）の計画であるか追記した。 さらに、「大気質、騒音、振動、水質等」は造成面積の縮小により工事中及び供用後の環境負荷は同程度または低減されるものと考え、基本設計時の工事計画、施設の諸元を基に予測・評価を行い、「動物・植物・生態系」については前述の実施設計段階における造成範囲を考慮し、先行して予測・評価を行うことを追記した。	2-18 (第2章全般)
		実施設計段階では施設配置に変更があるため、本パース図は基本設計段階の形状であり、埋立地及び主要な施設のみを示している旨を追記した。	2-23～24
②遮水工	遮水工の構造について、現最終処分場建設時に地元住民と協議を行い10cm厚の保護コンクリートを施工したことから、本事業でも同様と施工が必要であると考え、修正した。	2-29	

表 11-1 (2) 修正内容の概要とその理由

修正箇所	修正項	修正内容及び修正理由	評価書の頁
2-3-4 対象事業の内容に関する事項	⑤浸出水調整槽	知事意見により、浸出水処理施設の容量について、算定根拠を追記した。 また、実施設計では浸出水調整槽等の位置が変更したため修正した。	2-32～36
	⑥浸出水処理施設	実施設計段階では設置位置を変更（洪水調整池Aの北側敷地を想定）したため修正した。	2-42
		三重県環境影響評価委員会幹事からの意見及び確認事項にあった全リンの基準値は、備考欄が誤記のため「現最終処分場基準値」に修正した。	2-43 2-59
	⑦洪水調整池	実施設計段階では洪水調整池Cは設置しない方向で検討を行っているため、その旨を追記した。	2-46
	⑨道路施設	実施設計段階では道路計画が変更になっていたため、表 2-3-4.19 及び図 2-3-4.19 を修正した。	2-46～47
	8. 工事計画の概要	工事工程表に仮設沈砂池については設置を行う計画であることを追記した。	2-56
	9. 環境保全計画	騒音基準値の時間区分は誤記のため、修正した。	2-60
第3章			
3-1 自然的状況 3-1-6 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	1. 動植物相の状況	松阪市環境影響評価委員会の指摘事項により、ダルマガエルをナゴヤダルマガエルと統合したため、表 3-1-6.2 及び表 3-1-6.6 の両生類・爬虫類の種数を修正した。	3-50 3-54
	2. 重要な種の状況	表 3-1-6.6 に分類見直し前のカスミサンショウウオの三重県レッドデータブックのランクをヤマトサンショウウオに追記し、注釈を追加した。	3-54
		松阪市環境影響評価委員会の指摘事項により、表 3-1-6.9 の汽水・淡水魚にスナヤツメを追加した。	3-57
3-1-8 景観の状況	景観の状況	三重県環境影響評価委員会幹事からの意見及び確認事項により、表 3-1-8.2 及び図 3-1-8.2 に中万地区を追加した。	3-71 3-73
3-2-6 上下水道等の整備状況	1. 上水道の状況	三重県環境影響評価委員会幹事からの意見及び確認事項により、上水道の状況及び図 3-2-6.1 より誤記のため多気浄水場を削除した。	3-102 3-103
第7章			
7-1 大気質 7-1-1 現況把握	2. 調査結果	窒素酸化物、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質に係る調査結果は誤記のため、修正した	7-5 7-6
		大気質に係る予測手法	表 7-1-2.1 に、予測条件の設定にあたっては基本設計段階を基に行った旨を注釈に追記した。また、各予測条件（予測対象時期、予測ケース等）にも同様の注釈を追記した。

表 11-1 (3) 修正内容の概要とその理由

修正箇所	修正項	修正内容及び修正理由	評価書の頁
7-1-2 予測・環境 保全措置及び評価	1. 重機の稼働に伴う排出ガス	表 7-1-2.11 のバックグラウンド濃度は誤記のため修正した。	7-20 7-25
7-2 騒音 7-2-1 現況把握	2. 調査結果	表 7-2-1.6(2)のSV.4及びSV.5のピーク時間と交通量台数は誤記のため、修正した。	7-72
7-2-2 予測・環境 保全措置及び評価	騒音に係る予測手法	表 7-2-2.1 に、予測条件の設定にあたっては基本設計段階を基に行った旨を注釈に追記した。また、各予測条件（予測対象時期、予測ケース等）にも同様の注釈を追記した。	7-75 （騒音全般）
	2. 資材の運搬車両の走行に伴う騒音	工事関係車両の走行時間の分散時の騒音レベルについて定性的に検討を行った結果を追記した。	7-92
	3. 工作物の供用・稼働（埋立作業）による騒音	環境保全措置について再検討を行い、表 7-2-2.21 に「低騒音型建設機械の採用」を追記した。 「三重県生活環境の保全に関する条例施行規則」に誤記があったため修正した。	7-104 7-104 7-131
7-3 振動 7-3-1 現況把握	2. 調査結果	表 7-3-1.5 のSV.5の平日 昼間の上端値は誤記のため、修正した。	7-110
	振動に係る予測手法	表 7-3-2.1 に、予測条件の設定にあたっては基本設計段階を基に行った旨を注釈に追記した。また、各予測条件（予測対象時期、予測ケース等）にも同様の注釈を追記した。	7-111 （振動全般）
7-5 水質 7-5-1 現況把握	2. 調査結果	表 7-5-1.4(2)のW.2冬季の調査結果（塩分、pH、SS、燐含有量）について誤記のため修正した。	7-143
		表 7-5-1.5(2)のW.2冬季の調査結果（pH、塩化物イオン）について誤記のため修正した。	7-144
7-5-2 予測・環境 保全措置及び評価	水質に係る予測手法	表 7-5-2.1 に、予測条件の設定にあたっては基本設計段階を基に行った旨を注釈に追記した。また、各予測条件（予測対象時期、予測ケース等）にも同様の注釈を追記した。	7-150 （水質全般）
	1. 地盤改良及び工作物の建設に伴う水質（アルカリ排水）の影響	知事意見等により、環境保全措置としての事後調査項目に六価クロムを追加した。	7-152
	2. 土地の造成及び工事用道路等の建設に伴う濁水（浮遊物質）の影響	表 7-5-2.3(1)に、実施設計段階では洪水調整池Cは設置しない方向で検討を行っているが、仮設沈砂池については設置を行う計画である旨を追記した。	7-155
	3. 処理水の放流に伴う環境基準及び農業用水基準の項目に対する影響	知事意見等により、予測対象時期はキャッピングを行った状態についても再検討を行いその結果を追記した。	7-158 ~ 160
7-6 地下水 7-6-1 現況把握	2. 調査結果	表 7-6-1.10(1)地下水質の状況（G.1）ダイオキシン類数値を誤記のため修正した。	7-182
7-6-2 予測・環境 保全措置及び評価	地下水に係る予測手法	表 7-6-2.1 に、予測条件の設定にあたっては基本設計段階を基に行った旨を注釈に追記した。	7-186

表 11-1 (4) 修正内容の概要とその理由

修正箇所	修正項	修正内容及び修正理由	評価書の頁
7-7 地形及び地質 7-7-1 現況把握	2. 調査結果	表 7-7-1.2 に調査日を追加した。	7-200
		知事意見等により、対象事業実施区域内で確認されている断層について、活断層である可能性が高いと修正した。	7-202
7-7-2 予測・環境 保全措置及び評価	2. 活断層の土地の安定 性に及ぼす影響	表 7-7-2.1 に、予測条件の設定にあたっては基本設計段階を基に行った旨を注釈に追記した。	7-216
		知事意見等により、活断層の可能性を踏まえ、予測結果を修正した。	7-221
7-9 陸生動物	評価書の図面	評価書の図面は、実施設計段階の造成範囲をベースに修正した。	陸生動物 全般
7-9-1 哺乳類	2. 調査結果	松阪市環境影響評価委員会の指摘事項により、イタチの種名が同定されていないため、文章及び表 7-9-1.7 をイタチ類へ修正した。	7-234 7-237
	3. 予測・環境保全措置及 び評価	実施設計段階における造成範囲を考慮し、文章中の山林、谷津田の面積を修正した。	7-237
		図 7-9-1.4 のタイトルを誤記のため、「対象事業計画区域との重ね合わせ図」に修正した。	7-239
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、図 7-9-1.5 を修正した。	7-241
7-9-2 鳥類	3. 予測・環境保全措置及 び評価	実施設計段階における造成範囲を考慮し、文章中の山林、谷津田の面積を修正した。	7-296
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、図 7-9-2.15、図 7-9-2.16、図 7-9-2.18 を修正した。	7-306 ~ 307 7-313
7-9-3 両生類・爬 虫類	3. 予測・環境保全措置及 び評価	実施設計段階における造成範囲を考慮し、文章中の山林、谷津田の面積を修正した。	7-325 ~ 327
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、図 7-9-3.3、図 7-9-3.4 を修正した。	7-328 7-332
7-9-4 昆虫類	2. 調査結果	表 7-9-4.5 及び表 7-9-4.6(1)～(9)昆虫類の確認科数、確認種数を誤記のため修正した。	7-337 7-346
	3. 予測・環境保全措置及 び評価	実施設計段階における造成範囲を考慮し、文章中の山林、谷津田の面積を修正した。	7-355 7-357 7-358
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、トゲアリの予測結果を修正した。	7-359 7-360
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、図 7-9-4.4、図 7-9-4.5 を修正した。	7-361 7-364
7-9-5 クモ類	2. 調査結果	松阪市環境影響評価委員会の指摘事項により、表 7-9-5.3 及び表 7-9-5.4(1)のキノボリトタテグモの科名を誤記のため、トタテグモ科に修正した。	7-367 7-368
	3. 予測・環境保全措置及 び評価	実施設計段階における造成範囲を考慮し、文章中の山林、谷津田の面積を修正した。	7-374
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、図 7-9-5.3、図 7-9-5.4 を修正した。	7-377 7-378

表 11-1 (5) 修正内容の概要とその理由

修正箇所	修正項	修正内容及び修正理由	評価書の頁
7-9-6 陸産貝類	3. 予測・環境保全措置及び評価	実施設計段階における造成範囲を考慮し、文章中の山林、谷津田の面積を修正した。	7-387 ~ 388
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、表 7-9-6. 11 の確認場所（対象事業実施区域内・外）を修正した。	7-388
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、図 7-9-6. 3、図 7-9-6. 4 を修正した。	7-389 7-391
7-9-7 土壌動物	2. 調査結果	松阪市環境影響評価委員会の指摘事項により、表 7-9-7. 3(2) 及び表 7-9-7. 4(2) ハエ目の目名が不足していたため追記した。	7-396 7-398
	3. 予測・環境保全措置及び評価	実施設計段階における造成範囲を考慮し、文章中の山林の面積を修正した。	7-400
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、図 7-9-7. 2 を修正した。	7-401
7-10 陸上植物	評価書の図面	評価書の図面は、実施設計段階の造成範囲をベースに修正した。	陸生植物全般
7-10-1 植物	3. 予測・環境保全措置及び評価	実施設計段階における造成範囲を考慮し、文章中の山林、谷津田、コナラ群落、モウソウチク植林、スギ・ヒノキ植林、ヨシ群落の面積を修正した。また、表 7-10-1. 17 の面積等を修正した。	7-432 ~ 434
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、ギンランの予測結果を修正した。	7-437
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、タチカモメヅルの予測結果を修正した。	7-443
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、オケラの予測結果を修正した。	7-446
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、表 7-10-1. 20 の予測結果概要を修正した。	7-447
		予測結果を修正したことにより、表 7-10-1. 21(1) 植物に係る環境保全措置①の「タチカモメヅル、オケラ」を削除した。	7-449
		予測結果を修正したことにより、表 7-10-1. 21(3) の環境保全措置を修正した。	7-450
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、図 7-10-1. 5、図 7-10-1. 6 を修正した。	7-448 7-451
7-10-2 地衣類	3. 予測・環境保全措置及び評価	実施設計段階における造成範囲を考慮し、文章中の山林、谷津田、コナラ群落、モウソウチク林、スギ・ヒノキ植林の面積を修正した。	7-457
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、図 7-10-2. 2 を修正した。	7-458
7-10-3 蘚苔類	3. 予測・環境保全措置及び評価	実施設計段階における造成範囲を考慮し、文章中の山林、谷津田、コナラ群落、モウソウチク林、スギ・ヒノキ植林の面積を修正した。	7-466
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、図 7-10-3. 3、図 7-10-3. 4 を修正した。	7-468 7-470

表 11-1 (6) 修正内容の概要とその理由

修正箇所	修正項	修正内容及び修正理由	評価書の頁
7-10-4 キノコ類	3. 予測・環境保全措置及び評価	実施設計段階における造成範囲を考慮し、文章中の山林、谷津田、コナラ群落、モウソウチク林、スギ・ヒノキ植林の面積を修正した。	7-479
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、図 7-10-4.3、図 7-10-4.4 を修正した。	7-481 7-482
7-11 水生生物	評価書の図面	評価書の図面は、実施設計段階の造成範囲をベースに修正した。	水生生物全般
7-11-1 淡水魚類	3. 予測・環境保全措置及び評価	実施設計段階における造成範囲を考慮し、文章中の谷津田の面積を修正した。	7-494
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、図 7-11-1.3、図 7-11-1.4 を修正した。	7-497 7-499
7-11-2 底生動物	3. 予測・環境保全措置及び評価	実施設計段階における造成範囲を考慮し、図 7-11-2.2、図 7-11-2.3 を修正した。	7-516 7-518
7-11-3 付着藻類	3. 予測・環境保全措置及び評価	実施設計段階における造成範囲を考慮し、図 7-11-3.1 を修正した。	7-528
7-12 生態系	評価書の図面	評価書の図面は、実施設計段階の造成範囲をベースに修正した。	生態系全般
7-12-1 生態系	2. 調査結果	生態系の類型区化について再検討を行い、「①山林・丘陵地」から「②丘陵地」に修正した。 なお、文章中では山林を使用している。	7-530 (生態系全般)
		松阪市環境影響評価委員会の指摘事項により、表 7-12-1.2 及び表 7-12-1.3 の種名ヒメヒカゲをヒメジャノメに修正した。	7-533 7-534
		松阪市環境影響評価委員会の指摘事項により、捕食種名アライグマを文章中に追加した。	7-534
		松阪市環境影響評価委員会の指摘事項により、図 7-12-1.3 のアライグマの位置を高次消費者に修正した。	7-537
		松阪市環境影響評価委員会の指摘事項により、表 7-12-1.8(1) キツネの生態を修正した。	7-539
	3. 予測・環境保全措置及び評価	実施設計段階における造成範囲を考慮し、文章中の山林、谷津田、コナラ群落の面積を修正した。	7-544 ~ 546
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、図 7-12-1.5、図 7-12-1.7 を修正した。	7-547 7-550
7-14 景観 7-14-2 予測¥・環境保全措置及び評価	1. 造成地・工作物の存在及び緑化等による景観への影響	実施設計段階における造成範囲を考慮し、予測結果(表 7-14-2.2(2))を修正した。 また、法面下段は擁壁構造とする計画であることから、予測結果(表 7-14-2.2(2)~(6)、表 7-14-2.3)を修正した。	7-575 7-577 ~ 580
7-15 廃棄物等 7-15-1 予測・環境保全措置及び評価	廃棄物等に係る予測手法	表 7-115-1.1 に、予測条件の設定にあたっては基本設計段階を基に行った旨を注釈に追記した。	7-582

表 11-1(7) 修正内容の概要とその理由

修正箇所	修正項	修正内容及び修正理由	評価書の頁
7-15-1 予測・環境保全措置及び評価	2. 施設の稼働に伴う廃棄物等の発生	知事意見等により、最新データ（2022～2023）を踏まえ、予測結果を修正した。 また、表 7-15-1.7 備考欄を修正した。	7-584 ～ 585
7-16 温室効果ガス等 7-16-1 予測・環境保全措置及び評価	温室効果ガス等に係る予測手法	表 7-16-1.1 に、予測条件の設定にあたっては基本設計段階を基に行った旨を注釈に追記した。	7-586
	2. 樹木の伐採等により失われる炭素蓄積量	知事意見等により、樹木の伐採等により失われる炭素蓄積量について予測・評価を追加した。	7-589 ～ 590
	3. 施設の供用・稼働に伴う温室効果ガスの排出量	温室効果ガスの発生量予測結果の合計は誤記のため年平均に修正（表 7-16-1.9）した。	7-592
8 章			
対象事業に係る環境影響の総合的な評価	調査及び予測・評価結果の概要（騒音）	環境保全措置について再検討を行い、表-2(2)に「低騒音型建設機械の採用」を追記した。	8-5
	調査及び予測・評価結果の概要（水質）	知事意見等により、予測対象時期はキャッピングを行った状態についても再検討を行いその結果を追記した。	8-10
	調査及び予測・評価結果の概要（地形及び地質）	表 8-7 に調査日を追加した。また、知事意見等により、対象事業実施区域内で確認されている断層について、活断層である可能性が高いと修正した。	8-13
	調査及び予測・評価結果の概要（哺乳類）	松阪市環境影響評価委員会の指摘事項により、表 8-9 のチョウセンイタチをイタチ類へ修正した。	8-15
		実施設計段階における造成範囲を考慮し、文章中の山林、谷津田、コナラ群落、モウソウチク植林、スギ・ヒノキ植林、ヨシ群落の面積を修正した。	8-15 8-18～19 8-21～24 8-26～29 8-32～33
	調査及び予測・評価結果の概要（昆虫類）	表 8-12(1)昆虫類の確認科数、確認種数を誤記のため修正した。	8-19
	調査及び予測・評価結果の概要（植物）	予測結果を修正したことにより、表 8-16(1)の移植対象種から「タチカモメヅル、オケラ」を削除した。	8-23
	調査及び予測・評価結果の概要（廃棄物等）	予測結果を修正したことにより、表 8-26 の予測結果及び環境保全措置を修正した。	8-35
	調査及び予測・評価結果の概要（温室効果ガス等）	「樹木の伐採等により失われる炭素蓄積量」の予測結果等を追記した。 また、施設の供用・稼働（廃棄物の埋め立て）に伴う温室効果ガスの排出量を年平均に修正した。	8-36

表 11-1 (8) 修正内容の概要とその理由

修正箇所	修正項	修正内容及び修正理由	評価書の頁
9 章			
事後調査の実施計画	9-1 事後調査の実施計画	「予測の不確実性の程度が大きいもの」として、工事の実施にともなう、大気質、騒音、振動を追加した。	9-2
		「工事の実施」にともなう、大気質、騒音、振動について事後調査の内容を追加した。	9-5
		知事意見等により、表 9-2(1)環境保全措置としての事後調査項目に六価クロムを追加した。	9-5
		委員会の指摘により、表 9-2(1)の地下水質の事後調査項目を具体的に追記した。	9-6
	9-2 環境保全エリアの整備計画の追記	知事意見等により、環境保全エリアの整備計画を追加した。	9-11
		知事意見等により、環境保全エリアのモニタリング計画を追加した。	9-14